

# 2016年5月15日 主日礼拝 <ペンテコステ礼拝>

司 会 ①梅津兄 ②間兄 ③新田兄

奏 楽

祈 禱 ①石橋兄 ②綴木兄

賛 美 聖歌576番「聖霊きたれり」  
(いま聖いみ霊よ)(主がここにおられます)

十 戒

聖 書 ①② ヨハネによる福音書14章12～18節 (P165)  
③ 使徒行伝2章1～4、42～47節 (P181)

音 楽 ① 北島美佐子姉 (伴奏:白鳥直美姉)  
②③ 荒谷留架姉

証 詞 ①② 当麻哲哉兄(モーセ会)

メッセージ ①②「内側で助けてくださる聖霊様」 倉知契副牧師  
③「ひとりびとりの上にとどまった」 大川従道牧師

賛 美 「聖霊様あなたを求めます」(献金)

頌 栄 「主の祈り」アーメン

祝 禱

「ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう」 (使徒行伝一の八)

## 【大和ニュース】

☆本日は、聖霊降臨記念日。ペンテコステと呼ばれ、教会の創立記念日でもある。

- ・ 本日、入門講座Ⅲ、手話、送迎駐車場、SS教師、J.plus、VIP日吉(16:00)等あり。
- \* 東京カルバリーは5時。広尾5の9の7「21世紀教会」。独唱は宮川姉。大川牧師。(祝受洗！①臼井慶一兄 ②中川了亮兄。お祈り感謝。) \*来週は、サルーキ=。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！水曜と木曜。説教は菅原副牧師。(木曜午後はサラの会)
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は石橋雄介補教師。
- \* ご結婚おめでとうございます。高橋義尚様と本庄由佳様。ハワイにて挙式(6月)。
- \* 怒りとやすらぎのチャリティーコンサート。20日(金)、橋本駅の杜のホールにて。有料出演は西田美栄子姉と倉知契師、他。すばらしい伝道集会です。
- ・ 土曜スクールは子どものための伝道集会。土曜朝9時半、森チャペルにて。

## 石の枕

今日は「聖霊降臨記念日」。歴史を変えたペンテコステの日だ。この日のコラムに何を書くかは、何週間考えても、恐れてしまってペンが動かない。こんなことが、一年に一回、46年間も続いたことになる。勿論、祈りに祈った。

「突然、激しい風が吹いてきたような音が天から起ってきて、一同がすわっていた家いっばいに響きわたった」(使徒行伝2章2節)。

これはペンテコステの始まりの聖書箇所だ。以下、ビル・ジョンソン著(長田晃訳)『神の臨在をもてなす』(Hosting the Presence)からの引用。P125。

天からの騒音がやってきた。二つの世界が出会った瞬間である。それは激しい風が吹きまくるようであった。ここで「吹いてきた」という原語は、フェロで、「運ぶ。持ち運ぶ。背負う。もたらされる」と他では訳されている。

「吹いて来た」という言葉は、鳴り響く音や激しい風とともに、天にあった何かが地上に運ばれてきたことを示唆していないだろうか。(このあたりは、実にすばらしい洞察である。大川評)

「響き」と訳されている言葉は、「吼える声」とも訳することができる。神は声によって世界を造られた(創世記1の3～24)。神の言葉には創造的な力がある。「主のことばによって、天は造られた。天の万象もすべて、御口のいぶきによって」(詩篇33の6)。

この響く音は神の口から出て、いにしえからの預言者たちが長年見たがっていた現実を地上に解き放った。風と響く音と天からの息吹に乗って神が来られ人類を本来の目的のために回復しに来られた。この瞬間に歴史上最も劇的な天の侵入が起こったのだ。それは決定的な瞬間であった。スバラシイ！！

小宮路敏先生が退院され、ご挨拶と共にステキな詩が紹介されていた。

どうして父国と言わずに母国と呼ぶか どうして父国語と言わずに母国語と呼ぶか

どうして父校と言わず母校と呼ぶか どうして父港と言わず母港と呼ぶか

どうして父船と言わず母船と呼ぶか どうして父教会と言わず母教会と呼ぶか

どうして父がその名をひそめたか どうして母が脚光をあびるようになったか

\*河野進先生の詩であるが、愛する姉妹たちよ。母性愛が世界を変えていくことを自覚してほしい。日本には6千人のシスターがいる、と吉田シスターが語っておられた。貞操と従順と清貧に対する献身の道。「あなたがたの体を主に献げよ！」(ロマ12章)。この視点から言えば、毎日が「母の日」である。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:ヨハネ5章～8章 Bコース:列王紀下12章～歴代志上5章